

＜平成28年省エネルギー基準対応＞

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

自己適合宣言書番号	APS0001	附属書番号	APF0102-3
発行者の名称	YKK AP株式会社		
作成日	2019年4月1日	改訂日	2021年4月1日
商品	APW430/APW431		
仕様	アングル付、アングル無(アングル付同等納まり)		
窓種	・引違い窓(2枚建、4枚建)		
	・面格子付引違い窓(2枚建)		
	・シャッター付引違い窓(2枚建、4枚建)		
	・引違いテラス戸(2枚建、4枚建)		
	・シャッター付引違いテラス戸(2枚建、4枚建)		

■本附属書について

・本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。

・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。

修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新の情報をご参照ください。

■開口部の熱貫流率について

・試験値は、JIS A 4710に基づく試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。

・計算値は、JIS A 2102-1に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により計算された代表試験体の熱貫流率です。

・簡易の評価は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「熱貫流率及び線熱貫流率」に基づき計算された熱貫流率の値です。

・建具とガラスの組み合わせは、一般社団法人 日本サッシ協会ホームページ内「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率表(住宅用窓の簡易的評価)に基づく開口部の熱貫流率です。

・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「窓、ドアの熱貫流率に關し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲に定める基準」に基づき選定したものです。

■開口部の日射熱取得率について

・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づき、JIS R 3106に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により算定されたガラスの日射熱取得率の値を用いて枠の影響を考慮した開口部の日射熱取得率です。

・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ、開口部の熱貫流率・日射熱取得率」の値もご使用いただけます。

■ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率

		アルゴンガス入り							
		一般ガラス				合わせガラス*			
		透明	型		透明 (30mil)	型 (30mil)	透明 (60mil)	型 (60mil)	
		GAP3 (CAP3)	GZP4 (CZP4)	GFP3 (CFP3)	GDP5 (CDP5)	GXP3 (CXP3)	GJP3 (CJP3)	GYP3 (CYP3)	GLP3 (CLP3)
ガラス構成	室外ガラス厚	3	4	4	4	4	4	3	3
	中空層厚	12	11	11	10	10	10	10	10
	中間ガラス厚	3	3	4	4	3・3	3・3	3・3	3・3
	中空層厚	12	11	11	10	10	10	10	10
	室内ガラス厚	3	4	3	5	3	3	3	3
熱貫流率 区分	ダブル Low-E	日射遮蔽型ニュートラル	①	②	②	③	③	③	③
		日射遮蔽型ブルー	①	②	②	③	③	③	③
		日射遮蔽型ブロンズ	①	②	②	③	③	③	③
	シングル Low-E	日射取得型ニュートラル	③	③	③	④	④	④	④
日射熱 取得率	ダブル Low-E	日射遮蔽型ニュートラル	0.34	0.34	0.34	0.34	0.33	0.33	0.33
		日射遮蔽型ブルー	0.22	0.22	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21
		日射遮蔽型ブロンズ	0.22	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21	0.21
	シングル Low-E	日射取得型ニュートラル	0.41	0.40	0.40	0.40	0.39	0.39	0.39

・「ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率」は当社製ガラスの構成に基づいて求められたものになります。

当社製ガラス以外のガラスを適用する場合には、「開口部の熱貫流率 性能一覧」にてガラス中央部熱貫流率の値より性能値を参照してください。

・熱貫流率区分ごとの性能値は「開口部の熱貫流率 性能一覧」の各区分記号の行を参照してください。

・() 内のガラス記号はシングルLow-Eのものを示します。

・\*合わせガラスの呼称は、中間膜の厚みが30milのものは「安全合わせガラス」、60milのものは「防災安全合わせガラス」となります。

■開口部の熱貫流率 性能一覧

樹脂スペーサー仕様									
区分 記号	ガラス中央部の 熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]		開口部の熱貫流率[W/m <sup>2</sup> K]				試験値	計算値	簡易的 評価
			付属部材 無し	シャッター 又は 雨戸あり	※障子 あり	風除室 あり			
①	0.75	以下	1.05	1.01	0.97	0.96	○		
②	0.82	以下	1.13	1.08	1.04	1.02	○		
③	1.1	以下	1.26	1.19	1.15	1.12	○		
④	1.2	以下	1.54	1.44	1.38	1.34		○	

※障子は和障子などを示す。

〈平成28年省エネルギー基準対応〉

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

自己適合宣言書番号	APS0001	附属書番号	APF0004-4
発行者の名称	YKK AP株式会社		
作成日	2016年12月28日	改訂日	2021年4月1日
商品	APW431		
仕様	アングル無		
窓種	大開口スライディング 偏芯タイプ、均等タイプ		

■本附属書について
・本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。
・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。
修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新の情報をご参照ください。
■開口部の熱貫流率について
・試験値は、JIS A 4710に基づく試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。
・計算値は、JIS A 2102-1に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により計算された代表試験体の熱貫流率です。
・簡易の評価は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「熱貫流率及び線熱貫流率」に基づき計算された熱貫流率の値です。
・建具とガラスの組み合わせは、一般社団法人 日本サッシ協会ホームページ内「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率表(住宅用窓の簡易的評価)に基づく開口部の熱貫流率です。
・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「窓、ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲に定める基準」に基づき選定したものです。
■開口部の日射熱取得率について
・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づき、JIS R 3106に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により算定されたガラスの日射熱取得率の値を用いて枠の影響を考慮した開口部の日射熱取得率です。
・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ、開口部の熱貫流率・日射熱取得率」の値もご使用いただけます。

■ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率

		アルゴンガス入り							
		一般ガラス				合わせガラス*			
		透明	型		透明 (30mil)	型 (30mil)	透明 (60mil)	型 (60mil)	
		JAP3 (EAP3)	JZP4 (EZP4)	JFP3 (EFP3)	JFP5 (EFP5)	JXP3 (EXP3)	JJP3 (EJP3)	JYP3 (EYP3)	JLP3 (ELP3)
ガラス構成	室外ガラス厚	3	4	4	4	4	4	3	3
	中空層厚	16	15	15	14	14	14	14	14
	中間ガラス厚	3	3	4	4	3・3	3・3	3・3	3・3
	中空層厚	16	15	15	14	14	14	14	14
	室内ガラス厚	3	4	3	5	3	3	3	3
熱貫流率 区分	ダブル Low-E	日射遮蔽型ニュートラル	②	③	③	⑤	⑤	⑤	⑤
		日射遮蔽型ブルー	①	②	②	④	④	④	④
		日射遮蔽型ブロンズ	①	②	②	④	④	④	④
	シングル Low-E	日射取得型ニュートラル	⑥	⑦	⑦	⑧	⑧	⑧	⑧
日射熱 取得率	ダブル Low-E	日射遮蔽型ニュートラル	0.34	0.34	0.34	0.34	0.33	0.33	0.33
		日射遮蔽型ブルー	0.21	0.22	0.21	0.22	0.21	0.21	0.21
		日射遮蔽型ブロンズ	0.22	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21	0.21
	シングル Low-E	日射取得型ニュートラル	0.41	0.40	0.40	0.40	0.39	0.39	0.39

・「ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率区分」は当社製ガラスの構成に基づいて求められたものになります。

当社製ガラス以外のガラスを適用する場合には、「開口部の熱貫流率・開口部の日射熱取得率 性能一覧」にてガラス中央部熱貫流率の値より性能値を参照してください。

・熱貫流率区分および日射熱取得率区分ごとの性能値は「開口部の熱貫流率・開口部の日射熱取得率 性能一覧」の各区分記号の行を参照してください。

・① 内のガラス記号はシングルLow-Eのものを示します。

・合わせガラスの呼称は、中間膜の厚みが30milのものは「安全合わせガラス」、60milのものは「防災安全合わせガラス」となります。

■開口部の熱貫流率 性能一覧

樹脂スペーサー仕様										
区分 記号	ガラス中央部の 熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]		開口部の熱貫流率[W/m <sup>2</sup> K]				試験値	計算値	簡易的 評価	建具と ガラスの 組み合 わせ
			付属部材 無し	シャッター 又は 雨戸あり	※障子 あり	風除室 あり				
①	0.59	以下	1.04	1.00	0.96	0.95		○		
②	0.62	以下	1.06	1.01	0.98	0.96		○		
③	0.64	以下	1.08	1.03	1.00	0.98		○		
④	0.65	以下	1.09	1.04	1.01	0.99		○		
⑤	0.67	以下	1.10	1.05	1.01	1.00		○		
⑥	0.91	以下	1.29	1.22	1.17	1.15		○		
⑦	0.92	以下	1.30	1.23	1.18	1.16		○		
⑧	0.96	以下	1.33	1.26	1.21	1.18		○		

※障子は和障子などを示す。



＜平成28年省エネルギー基準対応＞

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）

自己適合宣言書番号	APS0001	附属書番号	APF0005-5
発行者の名称	YKK AP株式会社		
作成日	2016年12月28日	改訂日	2021年4月1日
商品	APW430		
仕様	アングル付、アングル無（アングル付同等納まり）		
窓種	・たてすべり出し窓 単窓、FIX段窓、FIX連窓、ウインドキャッチ連窓		
	・すべり出し窓 単窓、FIX段窓、FIX連窓		
	・FIX窓		
	・ソーアクション窓 単窓、FIX段窓、FIX連窓 ※アングル付の設定はありません		

■本附属書について
・本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。
・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。
修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新の情報をご参照ください。
■開口部の熱貫流率について
・試験値は、JIS A 4710に基づき試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。
・計算値は、JIS A 2102-1に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye（開口部の熱性能評価プログラム）により計算された代表試験体の熱貫流率です。
・簡易的評価は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「熱貫流率及び線熱貫流率」に基づき計算された熱貫流率の値です。
・建具とガラスの組み合わせは、一般社団法人 日本サッシ協会ホームページ内「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率表（住宅用窓の簡易的評価）に基づく開口部の熱貫流率です。
・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「窓、ドアの熱貫流率に關し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲に定める基準」に基づき選定したものです。
■開口部の日射熱取得率について
・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」に基づき、JIS R 3106に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye（開口部の熱性能評価プログラム）により算定されたガラスの日射熱取得率の値を用いて枠の影響を考慮した開口部の日射熱取得率です。
・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ、開口部の熱貫流率・日射熱取得率」の値もご使用いただけます。

■ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率

		アルゴンガス入り										
		一般ガラス						合わせガラス*				
		透明			型			透明 (30mil)	型 (30mil)	透明 (60mil)	型 (60mil)	
		JAP3 (EAP3)	JEP4 (EEP4)	JZP4 (EZP4)	JBP3 (EBP3)	JFP3 (EFP3)	JFP4 (EFP4)	JFP5 (EFP5)	JXP3 (EXP3)	JJP3 (EJP3)	JYP3 (EYP3)	JLP3 (ELP3)
ガラス構成	室外ガラス厚	3	4	4	3	4	4	4	4	4	3	3
	中空層厚	16	15	15	16	15	15	14	14	14	14	14
	中間ガラス厚	3	4	3	4	4	4	4	3・3	3・3	3・3	3・3
	中空層厚	16	15	15	16	15	15	14	14	14	14	14
	室内ガラス厚	3	4	4	3	3	4	5	3	3	3	3
熱貫流率区分	ダブル Low-E	日射遮蔽型ニュートラル	②	②	②	②	②	③	③	③	③	③
		日射遮蔽型ブルー	①	②	②	①	②	②	②	②	②	②
		日射遮蔽型ブロンズ	①	②	②	①	②	②	②	②	②	②
日射熱取得率	シングル Low-E	日射取得型ニュートラル	④	④	④	④	④	⑤	⑤	⑤	④	④
		日射取得型ブルー	④	④	④	④	④	⑤	⑤	⑤	④	④
	ダブル Low-E	日射遮蔽型ニュートラル	0.34	0.33	0.34	0.34	0.34	0.33	0.34	0.33	0.33	0.33
		日射遮蔽型ブルー	0.21	0.22	0.22	0.21	0.21	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21
		日射遮蔽型ブロンズ	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21	0.21
日射熱取得率	シングル Low-E	日射取得型ニュートラル	0.41	0.39	0.40	0.41	0.40	0.39	0.40	0.39	0.39	0.39
		日射取得型ブルー	0.41	0.39	0.40	0.41	0.40	0.39	0.40	0.39	0.39	0.39

・「ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率」は当社製ガラスの構成に基づいて求められたものになります。

当社製ガラス以外のガラスを適用する場合には、「開口部の熱貫流率 性能一覧」にてガラス中央部熱貫流率の値より性能値を参照してください。

・熱貫流率区分ごとの性能値は「開口部の熱貫流率 性能一覧」の各区分記号の行を参照してください。

・① 内のガラス記号はシングルLow-Eのものを示します。

\*合わせガラスの呼称は、中間膜の厚みが30milのものは「安全合わせガラス」、60milのものは「防災安全合わせガラス」となります。

■開口部の熱貫流率 性能一覧

樹脂スペーサー仕様										
区分 記号	ガラス中央部の 熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]	開口部の熱貫流率[W/m <sup>2</sup> K]				試験値	計算値	簡易的 評価	建具と ガラスの 組合せ	
		付属部材 無し	シャッター 又は 雨戸あり	※障子 あり	風除室 あり					
①	0.60 以下	0.89	0.86	0.83	0.82	○				
②	0.65 以下	0.90	0.87	0.84	0.83	○				
③	0.67 以下	1.03	0.99	0.95	0.94		○			
④	0.95 以下	1.16	1.10	1.06	1.04	○				
⑤	0.96 以下	1.25	1.19	1.14	1.12		○			

※障子は和障子などを示す。

平成28年省エネルギー基準対応

自己適合宣言書文書番号:LXEC-1601  
JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

開口部の熱貫流率・日射熱取得率 性能一覧 (RWG004)

本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

作成:2016年06月16日  
改訂:2020年03月13日

商品:サーモスX トリプルガラス(アルゴンガス入り)  
品種:縦すべり出し窓(グレモン) T、TF、TFT  
横すべり出し窓(グレモン)  
高所用横すべり出し窓  
FIX窓

株式会社LIXIL

ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率・日射熱取得率

熱貫流率(A~D)は、表1を参照ください。  
表中の記号及び数値については、当社製ガラスでの評価となります。

		標準仕様												室内特殊薄板ガラス仕様											
		一般						防犯						一般						防犯					
		透明			型			透明 (中間膜30mil)			型 (中間膜45mil)			透明			型			透明 (中間膜30mil)			型 (中間膜45mil)		
ガラス 構成	室外(Low-Eガラス)	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5
	中間	1.3	1.3	1.3	型4	型4	型4	3+3	3+3	3+3	3+型3	3+型3	3+型3	1.3	1.3	1.3	型4	型4	型4	3+3	3+3	3+3	3+型3	3+型3	3+型3
	室内(Low-Eガラス)	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
熱貫 流率	Low-E 色	グリーン/グリーン	A	C	C	C	C	D	C	D	D	C	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		クリア/グリーン	B	C	C	C	C	D	C	D	D	C	D	D	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C
		クリア/クリア	B	C	C	C	C	D	C	D	D	C	D	D	B	C	C	C	C	C	C	C	D	C	D
		クリア/ブロンズ	C	C	C	C	C	D	C	D	D	C	D	D	C	C	C	C	C	C	C	D	C	C	D
日射 熱 取得 率	Low-E 色	グリーン/グリーン	0.27	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		クリア/グリーン	0.34	0.34	0.33	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.29	0.29	0.28	0.29	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
		クリア/クリア	0.39	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.37	0.39	0.39	0.38	0.39	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
		クリア/ブロンズ	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.28	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.26	0.26	0.27	0.26	0.26

<住宅 仕様基準判断用日射熱取得率(ガラスの日射熱取得率)>

日射 熱 取得 率	Low-E 色	グリーン/グリーン	0.34	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		クリア/グリーン	0.42	0.42	0.41	0.43	0.42	0.42	0.43	0.42	0.42	0.43	0.42	0.36	0.36	0.35	0.36	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
		クリア/クリア	0.49	0.48	0.48	0.48	0.48	0.47	0.48	0.47	0.47	0.48	0.47	0.49	0.49	0.48	0.49	0.48	0.47	0.48	0.47	0.47	0.48	0.47	0.47
		クリア/ブロンズ	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.35	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.33	0.33	0.34	0.33	0.33

<表1>熱貫流率の値

・樹脂スペーサー仕様

記号	試験値	計算値	開口部の熱貫流率[W/(㎡K)]				ガラス中央部の 熱貫流率 [W/(㎡K)]
			遮蔽物 無し	シャッター・ 雨戸付	和障子付	風除室 あり	
A	○		1.11	1.06	1.02	1.00	0.65 以下
B	○		1.13	1.08	1.04	1.02	0.67 以下
C	○		1.23	1.17	1.12	1.10	0.80 以下
D	○		1.34	1.27	1.21	1.19	0.92 以下

当社製以外のガラスの場合は、「<表1>熱貫流率の値」のガラス中央部の熱貫流率にて判断してください。

<開口部の熱貫流率>

- ・試験値はJIS A 4710に基づく代表試験体の熱貫流率です。
- ・計算値はJIS A 2102の熱貫流率の計算に基づき計算した代表試験体の熱貫流率です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。
- ・連段窓時に異なる複層ガラスを使用する場合、ガラス中央部の熱貫流率の数値が大きい方での評価となります。

<日射熱取得率>

- ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「開口部の垂直面日射取得率」に基づく値です。  
(本表ご使用の場合は、和障子及び外付けブラインド取付け時も同じ値となります。)
- ・開口部の日射熱取得率は、ガラスの日射取得率に0.8の係数を掛けた値です。(小数第三位以下四捨五入)
- ・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ」の「ガラス・建具毎の日射熱取得率」の値もご使用可能です。
- ・住宅の仕様基準判断にご使用の場合は、<住宅 仕様基準判断用日射熱取得率(ガラスの日射熱取得率)>をご使用ください。



# 平成28年省エネルギー基準対応

自己適合宣言書文書番号:LXEC-1601

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

作成:2016年06月16日

改訂:2020年03月13日

## 開口部の熱貫流率・日射熱取得率 性能一覧 (RWG005)

商品: **サーモスX** トリプルガラス (アルゴンガス入り)

品種: 単体引違い窓

面格子付引違い窓

シャッター付引違い窓

装飾引違い窓

※いずれも2・4枚建、HK、HKKタイプ含む

株式会社LIXIL

## ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率・日射熱取得率

熱貫流率(A~D)は、表1を参照ください。

表中の記号及び数値については、当社製ガラスでの評価となります。

		標準仕様												室内特殊薄板ガラス仕様											
		一般						防犯						一般						防犯					
		透明			型			透明 (中間膜30mil)			型 (中間膜45mil)			透明			型			透明 (中間膜30mil)			型 (中間膜45mil)		
ガラス構成	室外(Low-Eガラス)	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5
	中間	1.3	1.3	1.3	型4	型4	型4	3+3	3+3	3+3	3+型3	3+型3	3+型3	1.3	1.3	1.3	型4	型4	型4	3+3	3+3	3+3	3+型3	3+型3	3+型3
	室内(Low-Eガラス)	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	3+3	3+3	3+3	3+型3	3+型3	3+型3
熱貫流率	Low-E色	グリーン/グリーン	A	C	C	C	C	D	C	D	-	C	D	-	-	-	-	-	-	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
		クリア/グリーン	B	C	C	C	C	D	C	D	-	C	D	-	A	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C
		クリア/クリア	B	C	C	C	C	D	C	D	-	C	D	-	A	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
		クリア/ブロンズ	C	C	C	C	C	D	C	D	-	C	D	-	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
日射熱取得率	Low-E色	グリーン/グリーン	0.27	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	-	0.26	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		クリア/グリーン	0.34	0.34	0.33	0.34	0.34	0.33	0.34	0.34	-	0.34	0.34	-	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
		クリア/クリア	0.39	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	-	0.38	0.38	-	0.39	0.39	0.38	0.39	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
		クリア/ブロンズ	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.31	0.31	-	0.31	0.31	-	0.28	0.28	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.26	0.26	0.27	0.26

＜住宅仕様基準判断用日射熱取得率(ガラスの日射熱取得率)＞

日射熱取得率	Low-E色	グリーン/グリーン	0.34	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		クリア/グリーン	0.42	0.42	0.41	0.42	0.42	0.41	0.43	0.42	-	0.43	0.42	-	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
		クリア/クリア	0.49	0.48	0.48	0.48	0.48	0.47	0.48	0.47	-	0.48	0.47	-	0.49	0.49	0.48	0.49	0.48	0.47	0.48	0.47	0.47	0.48	0.47
		クリア/ブロンズ	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.39	0.39	-	0.39	0.39	-	0.35	0.35	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.33	0.33	0.34	0.33

＜表1＞熱貫流率の値

・樹脂スペーサー仕様

記号	試験値	計算値	開口部の熱貫流率[W/(㎡K)]				ガラス中央部の熱貫流率[W/(㎡K)]
			遮蔽物無し	シャッター・雨戸付	和障子付	風除室あり	
A	○		1.42	1.34	1.28	1.25	0.84 以下
B		○	1.46	1.37	1.31	1.28	0.86 以下
C		○	1.60	1.49	1.43	1.38	1.1 以下
D		○	1.78	1.65	1.57	1.52	1.2 以下

当社製以外のガラスの場合は、「＜表1＞熱貫流率の値」のガラス中央部の熱貫流率にて判断してください。

### ＜開口部の熱貫流率＞

- ・試験値はJIS A 4710に基づく代表試験体の熱貫流率です。
- ・計算値はJIS A 2102の熱貫流率の計算に基づき計算した代表試験体の熱貫流率です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。

### ＜日射熱取得率＞

- ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「開口部の垂直面日射取得率」に基づく値です。
- （本表ご使用の場合は、和障子及び外付けブラインド取付け時も同じ値となります。）
- ・開口部の日射熱取得率は、ガラスの日射取得率に0.8の係数を掛けた値です。（小数第三位以下四捨五入）
- ・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ」の「ガラス・建具毎の日射熱取得率」の値もご使用可能です。
- ・住宅の仕様基準判断にご使用の場合は、＜住宅仕様基準判断用日射熱取得率(ガラスの日射熱取得率)＞をご使用ください。